

令和8年度

宇都宮大学 共同教育学部 総合型選抜A（一般）試験問題

小論文

共同教育学部 学校教育教員養成課程 自然科学系 数学分野

令和7年11月1日（土）
9時00分～9時50分

[注意事項]

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 監督者の指示に従って、「受験番号」を、解答用紙の受験番号欄に記入すること。
3. この冊子は、表紙（1ページ）と問題（3ページ）から構成されている。
問題には、2つの問がある。乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合は、
申し出ること。
4. 解答用紙は、1枚（両面）である。解答は、必ず枠内に記入すること。
枠外の記入は無効となる。
5. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

問題 以下の文章を読み、問に答えなさい。

考えさせる授業とはどんな授業か、考えるとはどんなことか、指導事例をもとにしながらさらに考察を深めてみよう。次はよくある授業例であるが、考えさせていない悪い例（小数をかける計算（小5））である。

**この部分は、著作権の都合上、公開
できません。**

この部分は、著作権の都合上、公開
できません。

この部分は、著作権の都合上、公開
できません。

(松原元一(編著)(1987)『考えさせる授業：算数・数学』による。設問の都合で原文を一部省略・改変したところがある。)

問1. 次の(1)と(2)について、著者の主張をそれぞれ100字以内で要約しなさい。

(1)「子どもがほとんど考えていない授業」にはどのような特徴があるか。

(2)「考えさせる授業」には何が不可欠であるか。

問2. 著者の主張を検討し、「考える力を育てる数学授業」について、中学校数学科、高等学校数学科のいずれかの具体的な事例を交えながら、あなたの考えを600字程度(改行による空白、句読点を含む)で書きなさい。

小論文 出題の意図

問1

著者の中心的な主張を読解し、それを要約する力をみる問題である。

問2

著者の主張を把握し、自分の考えを、具体的な例を用いて論述する力をみる問題である。